

～グラマン J4F グース飛行艇



グラマンの飛行艇の次作 J4F  
ウィジョンとの比較→

本機グースは、グラマン社が、胴体内に引き込み脚を取り付ける自社特許に基づいて製作した初の飛行艇です。1937年に初飛行し、第二次世界大戦で広く使用されました。戦後は海上自衛隊にも供与され、日本でもその姿をみることができました。水陸両用の飛行艇は使い勝手がよかったものと思われ、グラマン社は、その後より大型のアルバトロスや小型化したウィジョンなどを開発します。コクピット正面の丸味を帯びた窓など、レトロな雰囲気を感じさせるデザインながら、大きく張り出した機首のため、正面から見上げると、とても頼もしく感じられ、救難飛行艇に適したデザインに思われます。なお、シュワルツェネッガー主演の映画『コマンドー』（1985年）にも登場しており、当時、こんな古い機体が現役なんだ！と思った覚えがあります。

【模型について】

チェコの SWORD 製 1/72 のインジェクションキットですが、一部パーツがレジンだったり、キャノピーが塩ビだったりして、実質複合素材キットでした。米国沿岸警備隊の機体の特徴である、水切面縁のフランジはレアプレーン(バキュームキット)に入ってたものを使ってあります。

(中川裕幸 2023年5月)